

第30回鶏産肉能力経済検定成績

誌名	香川県畜産試験場研究報告
ISSN	03893553
著者	造田, 高市 田川, 恵富
巻/号	26号
掲載ページ	p. 56-60
発行年月	1989年3月

第30回鶏産肉能力経済検定成績

造田高市・田川恵富

県内における肉用種鶏の改良を促進しブロイラー用雛の向上を図るため、香川県鶏産肉能力経済検定規則に基づき、県内の主な種鶏場、孵化場のブロイラー雛について実施した。

1. 材料と方法

1) 検定銘柄

銘 柄	検 定 出 品 者	住 所
アーバーエーカ	松音孵卵場 松尾春芳	三豊郡三野町大見
〃	協和孵卵場 矢野康雄	〃 高瀬町佐股
ハーバード	森孵卵場 大西吉明	〃 大野原町大野原
アーバーエーカ	新延孵化場 新延正葭	〃 三野町吉津
ノーリン502	松尾孵卵場 池口正昭	〃 〃 大見
チャンキー	森孵卵場 森英雄	〃 大野原町大野原
アーバーエーカ	西讃園孵化場 森実	〃 〃 〃
コップ	新延孵化場 新延修	〃 三野町吉津
アーバーエーカ	森孵卵場 中村康弘	〃 大野原町大野原
ヒブロ	協和孵卵場 白川卓	〃 高瀬町佐股

2) 種 卵
種卵は、検定銘柄毎に120個を抽出し孵化した雛は、銘柄毎に雄30羽、雌30羽、計60羽を1区分とした。

3) 検定期間と場所

期	間	場 所
昭和62年	12月22日 入 卵	香川県畜産試験場
昭和63年	1月13日 孵 化	
〃	1月14日 検 定 開 始	
〃	3月16日 検 定 終 了	

4) 飼育管理

飼育(雌雄別飼)

(1) 飼育方法

餌付～3週齢 電熱バッテリー育雛器
(雌雄混飼)
4～9週齢 3.3㎡当り30羽平飼い

(2) 飼料と給与方法

飼料は市販配合飼料(表1)を用い給与は不断給与し、給水は自由飲水とした。

表1. 給与飼料及び成分

区 分	粗蛋白質(%)	代謝エネルギー	形 状
ブロイラー飼料前期用	22.0	3,080 カロリー	クランブル
ブロイラー飼料後期用	18.0	3,200 カロリー	マッシュ

(3) 衛生管理

- ① 鶏痘の予防接種
孵化時、穿刺用ワクチン接種
- ② ニューカッスル病予防

1日齢ニューカッスル病、B1株ワクチン点眼、2週齢で生ワクチン飲水投与、28日齢不活化ワクチン接種

第30回鶏産肉能力経済検定成績

2. 検定成績

1) 発育体重

発育体重は9区が良く、雄3,121g、雌

2,777gであった。各区の総平均体重は、
2,896gであった。

表2. 発育体重

区 分	性	餌付時(g)	9週齡(g)	変動系数
1	♂	42.3	3,180	7.36
	♀	41.3	2,705	
	平 均	41.8	2,943	
2	♂	43.0	3,194	9.14
	♀	42.0	2,672	
	平 均	42.5	2,933	
3	♂	44.7	3,018	7.77
	♀	44.3	2,620	
	平 均	44.5	2,819	
4	♂	44.7	3,111	7.96
	♀	46.7	2,724	
	平 均	45.7	2,918	
5	♂	44.0	2,961	5.50
	♀	44.0	2,537	
	平 均	44.0	2,749	
6	♂	49.0	3,089	7.94
	♀	49.0	2,676	
	平 均	49.0	2,883	
7	♂	43.3	3,079	7.62
	♀	43.0	2,762	
	平 均	43.2	2,921	
8	♂	43.0	3,132	10.30
	♀	43.7	2,722	
	平 均	43.4	2,927	
9	♂	47.7	3,121	8.85
	♀	47.3	2,777	
	平 均	47.4	2,949	
10	♂	44.7	3,263	9.23
	♀	44.7	2,569	
	平 均	44.7	2,916	
平 均	♂	44.6	3,115	8.17
	♀	44.6	2,676	
	平 均	44.6	2,896	

第30回鶏産肉能力経済検定成績

2) 飼料要求率

雄の要求率は、1.96 から 2.23 の範囲で
全区の平均は 2.07 であった。

雌は 2.12 から 2.33 で平均 2.20, 雌雄の
総平均は 2.14 であった。

表 3. 飼料要求率

区 分	性	9 週 齢
1	♂	2.07
	♀	2.22
	平 均	2.15
2	♂	2.03
	♀	2.14
	平 均	2.09
3	♂	2.09
	♀	2.15
	平 均	2.12
4	♂	2.08
	♀	2.19
	平 均	2.13
5	♂	2.06
	♀	2.17
	平 均	2.12
6	♂	1.99
	♀	2.12
	平 均	2.06
7	♂	2.01
	♀	2.24
	平 均	2.13
8	♂	2.23
	♀	2.33
	平 均	2.28
9	♂	2.14
	♀	2.21
	平 均	2.18
10	♂	1.96
	♀	2.24
	平 均	2.10
平 均	♂	2.07
	♀	2.20
	平 均	2.14

第30回鶏産肉能力経済検定成績

3) 育成率

雄，雌全区の平均は，97.2%であった。

表 4. 育成率

区 分	検定開始羽数 (羽)	検 定 終 了 羽 数			育 成 率 (%)
		雄	雌	計	
1	60	30	28	58	96.7
2	60	29	30	59	98.3
3	60	28	30	58	96.7
4	60	29	30	59	98.3
5	60	29	30	59	98.3
6	60	30	30	60	100.0
7	60	30	28	58	96.7
8	60	28	29	57	95.0
9	60	28	29	57	95.0
10	60	29	29	58	96.7
計又は平均	600	290	293	583	97.2

4) 経済性

で平均収益指数は 62.5 であった。

1羽当りの収益指数は，58.0 から 73.7

表 5. 粗 収 益

区 分	販売羽 数(羽)	販 売 重 量 (g)	販売価格(A) (円)	飼 料 費 (B) (円)	差引(A-B) (円)	収益指数
1	58	171,140	22,590	19,024	3,566	59.4
2	59	172,786	22,808	18,756	4,052	67.5
3	58	163,100	21,529	18,050	3,479	58.0
4	59	171,939	22,696	19,079	3,617	60.3
5	59	161,979	21,381	17,783	3,598	60.0
6	60	172,950	22,829	18,409	4,420	73.7
7	58	169,706	22,401	18,717	3,684	61.4
8	57	166,634	21,996	18,456	3,540	59.0
9	57	167,921	22,166	18,620	3,546	59.1
10	58	169,128	22,325	18,328	3,997	66.6
計又は 平均	583	1,687,293	222,721	185,222	37,499	62.5

注) 1. 販売価格 生 体 1 kg 当たり 132 円
 2. 飼料価格 ブロイラー前期用 " 56.95 銭
 ブロイラー後期用 " 51.70 銭

第30回鶏産肉能力経済検定成績

別表 孵化成績

区分	入卵個数	平均卵重 (g)	受精卵数	受精率 (%)	対受精卵(%)		発生 羽数	発生率(%)	
					中止率	死ごも り率		対入卵	対精 受卵
1	120	60.0	109	90.8	1.8	0.9	106	88.3	97.2
2	120	65.8	113	94.2	0.9	0.9	111	92.5	98.2
3	120	67.1	102	85.0	0	1.0	101	84.2	99.0
4	120	67.5	109	90.8	1.8	4.6	102	85.0	93.6
5	120	66.5	86	88.3	1.2	4.6	81	67.5	94.2
6	120	73.3	120	100.0	0	6.7	112	93.3	93.3
7	120	67.5	117	97.5	10.3	9.4	94	78.3	80.3
8	120	64.2	118	98.3	3.4	5.1	108	90.0	91.5
9	120	71.7	118	98.3	5.9	5.1	104	86.7	88.1
10	120	67.1	114	95.0	4.4	3.5	105	87.5	92.1
計又は 平均	1,200	67.1	1,106	92.2	3.2	4.2	1,024	85.3	92.6

別表 腹腔内脂肪

区分	対生体重 (%)		
	雄	雌	平均
1	3.1	3.5	3.3
2	2.9	3.1	3.0
3	2.5	3.2	2.9
4	2.4	3.2	2.8
5	2.6	3.0	2.8
6	2.5	2.9	2.7
7	2.7	3.7	3.2
8	2.5	3.0	2.8
9	2.9	3.3	3.1
10	2.7	3.1	2.9
平均	2.7	3.2	3.0